

令和6年2月16日

茶生産者 各位

曾於北部茶業連絡協議会

曾於南部茶業連絡協議会

2月13日現在の耐凍性調査結果の報告について

茶生産者の皆さんお疲れ様です。

2月13日現在の耐凍性調査結果を報告します。今後の防霜の参考にして下さい。

1 2月13日現在での上位芽の耐凍温度

志布志市有明町（野神立本）

「ゆたかみどり」：-11℃ 「さえみどり」：-12℃ 「やぶきた」：-14℃

志布志市有明町（野神鍋）

「ゆたかみどり」：-11℃ 「さえみどり」：-11℃ 「やぶきた」：-14℃

曾於市末吉町（岩崎丸山）

「さえみどり」：-14℃ 「やぶきた」：-14℃

曾於市財部町（十文字）

「さえみどり」：-14℃ 「やぶきた」：-13℃

2 注意点

- (1) 早生品種(「ゆたかみどり」, 「さえみどり」, 「あさつゆ」)や, 中切りした「やぶきた」等では, 秋冬期に凍害を受けやすく, 芽つぶれを起こす茶園がみられます。
- (2) 秋冬期の防霜が必要な期間は, 初霜期から平均気温が10℃を恒常的に下回る12月末までです。
- (3) 防霜ファンの稼働開始温度は, 耐凍温度より2~4℃高めで設定して下さい。
- (4) スプリンクラーの水が路面に飛ばないように注意しましょう(路面凍結の恐れ)。
- (5) 過度な秋冬期防霜は, 耐凍性獲得に影響を及ぼしますので, 耐凍性温度を考慮した防霜を行いましょう。
- (6) 必ず, 防霜施設の動作チェックやセンサーの位置確認を行いましょう。

3 曾於地域の耐凍性情報のホームページ掲載

- (1) 農業開発総合センター茶業部ホームページにリンク情報が追加
- (2) インターネット検索で, 「曾於 茶 耐凍性」で検索